

2017年度 認定 NPO 法人キーパーソン 21 事業計画案

【キーパーソン 21 の活動目的】

ひとりでも多くの子どもたちに将来について考えるきっかけを持たせ、視野を広げ社会へ旅立つことへの自覚と自立心を促し、夢と勇気をもって、生き生きと自己実現へ向かってすすめる喜びを知ってもらうこと。

【2017年度の目標】

1. 「わくわくエンジン」を軸とするキーパーソン21の考え方や概念を、子どもたちを取り巻く社会的関係者(親、教員、大学、塾、行政、企業、地域の学習支援などを運営する団体等)に向けて広く展開する。
2. キーパーソン21の活動を全国に普及させ、各地域で実施するための支部／本部制度を整備構築する。
3. キーパーソン21の活動の社会的価値を効果的に伝えるための広報活動を強化する。

1. プログラム開発

地域の課題やニーズに合わせて、既存のプログラムの改修や新規プログラムの開発を行う。

- 【対:中学生、高校生】「個別アクションプログラム」を通して経済的困難を抱える中学生や定時制高校の生徒たちが、進路決定にあたって具体的に獲得した気づきを言語化し、面接で堂々と話せるプログラムとして展開できるようにテキストを整備する。
- 【対:大学生】大学生による高校生への講演プログラムをブラッシュアップし、汎用性のあるものにするよう整備する。
- 【対:大学生】多様な大人と出会い、交流する機会をつくる大人角をブラッシュアップする。
- 【対:高校生、大学生】起業家育成を目的としたプログラムとして整備する。
- 【対:親子】親子間理解を充実できるプログラムとして手軽に取り組める短縮版や簡易版を作成する。

2. わくわくナビゲーターの養成（大人、大学生対象）

わくわくナビゲーター養成講座を開講する。

- 一般向けにわくわくナビゲーター養成講座を10回程度開催する。

- すきなものビンゴ&お仕事マップ:4回
- コミュニケーションゲーム:2回
- 個別アクションプログラム:4回

【開催スケジュール】

4月22～23日	すきなものビンゴ&お仕事マップ(トレーニング1～3)
5月13～14日	個別アクションプログラム(トレーニング1～3)
6月3～4日	コミュニケーションゲーム(トレーニング1～3)
6月24～25日	すきなものビンゴ&お仕事マップ(トレーニング1～3)
7月8～9日	個別アクションプログラム(トレーニング1～3)@関西
7月29～30日	すきなものビンゴ&お仕事マップ(トレーニング1～3)@関西
9月9～10日	個別アクションプログラム(トレーニング1～3)
2017年2～3月	すきなものビンゴ&お仕事マップ(トレーニング1～3)
2017年2～3月	個別アクションプログラム(トレーニング1～3)
2017年2～3月	コミュニケーションゲーム(トレーニング1～3)

- 企業協賛による実施前に、参加社員に事前研修を行う。8社10回程度開催(予定)。

◇ すきなものビンゴ&お仕事マップ、コミュニケーションゲーム

NTTデータシステム技術株式会社、カシオ計算機株式会社、株式会社エヌアセット、株式会社WOWOW、株式会社ジェーシービー、ギャップジャパン株式会社、クアルコムジャパン株式会社、スカパーJSAT株式会社、他

3. プログラム実施事業

全国各地域での実施ニーズに応える体制をつくる。

方針

- ① わくわくナビゲーターが各地域で安心して実施できるよう、プログラム実施前後の養成サポートを丁寧に行う。
- ② 全国において、それぞれの課題を解決したいと考えている方々への参考になるように、プログラム実施前後の効果測定を行う。
- ③ 全国において、それぞれの課題を解決したいと考えている方々への参考になるようレポートを作成し、WEB掲載する。

学校支援事業 - 川崎本部による学校実施を 13 校 11 プロジェクト行う。

プログラム実施（小中高校生世代対象）

- 「企業の子ども応援プロジェクト」を東京港区、渋谷区、江東区、川崎市内の小中学校9校において実施する。（1校に数回のプログラムの場合もあり）
- 大学生による高校生を対象としたプログラムを1校実施する。
- 会員により、川崎市内在定時制高校の生徒を対象に「個別アクションプログラム」を1校実施する。
- 社会的・職業的自立事業を東京都より受託し、東京都教育庁と連携して都立高校定時制の生徒を対象にしたプログラムを2校実施する。

4. 個人支援事業

多様な個人に向けて、ニーズに応じた支援を行う

- 【親】子どもと一緒に納得のいく進路選択をしたい親や、子どもとのコミュニケーションの取り方を考えたい親を対象に学びの場を提供する。
 1. 「親の寺子屋」を要望に応じて開催する
- 【親子】子どもの進路や今と未来を考えたい親子を対象に、親子の相互理解促進やコミュニケーションを円滑にし、未来について親子で考えられる場を提供する。
 1. 「進路決定サポートプログラム solo-solo」を通年実施する。
 2. 川崎市内の今井小学校の寺子屋事業において親子対象とするプログラムを6回開催する。
 3. 江東区の小学校PTAと連動して、PTAモデルを構築する。
- 【大学生】職業選択や自立を目前に控え自分の今と未来を考え選択したい大学生に、プログラムや大人とのコミュニケーションを通して、自分軸で考え自分の言葉で人に伝える場を提供し納得のいく進路選択と自立をサポートする。
（山村学園高校での講演プログラム、大学と連携したイベントでの講演や運営、学習支援や学校におけるプログラム実施運営など主体的に関わる活動の機会を提供し、自らの参画をサポートする）

5. 地域活動支援事業（わくわく拡散プロジェクト）

多様な活動主体による「キャリア教育」提供への支援を行う。

5.1 パートナー連携

各地域の課題を解決しようとする団体へ、パートナーとしてのノウハウ提供や、多様な活動主体がプログラムを円滑に活用することができるよう支援する。

パートナー ・塾
 ・大学
 ・私立学校
 ・行政
 ・PTA
 ・スポーツ、留学などそれぞれの活動を行う NPO や団体
 ・経済的困難など様々な生きづらさを抱える子どもへの学習支援や居場所作りをしている団体
 他

5.2 支部連携

各地域の課題を解決しようとする会員が、個人会員の集合体として主体的に活動する支部活動を、わくわくナビゲーターの養成や、地域の子どもの成長に関わる諸団体の巻き込み方、広報手段などにより応援する。

支部候補 ・関西支部:ぼちぼちいこかチーム
 ・北海道支部
 ・茨城支部
 ・東京支部
 ・静岡支部 他

5.3 行政連携

地域が抱える課題解決に取り組む行政との連携による「キャリア教育」提供の支援を行う。

川崎市における地域支援

- 生活保護受給世帯の家庭で育つ中学生を対象に、「学習支援・居場所づくり事業」を川崎市と連携して通年実施する。2017年度より、2カ所に拡大。
 (通称:なかわく)(川崎市委託事業)
 - ◇ 対象:生活保護受給家庭で育つ中学1~3年生
 - ◇ 回数:88回×2カ所(向河原と新城)
 - ◇ 内容:基礎学習、進路選択のための「個別アクションプログラム」
 - ◇ 場所:川崎市中原区内2カ所
- 経済的困難を抱える家庭で育つ中学高校生へ「学習支援・居場所づくり事業」を継続開室する。
 (通称:こすわく)(自主事業)
 - ◇ 対象:川崎市内の経済的困難を抱えている家庭で育つ中高生
 - ◇ 回数:月曜日30回、水曜日44回予定
 - ◇ 内容:英会話レッスン(NKK シームレス鋼管による支援)
 基礎学習、進路選択のための「個別アクションプログラム」
 - ◇ 場所:川崎市中原区内
- 地域の小学校における寺子屋を開室する。行政と学校と地域とNPOの連携して行う。
 (通称:てらこや)(川崎市委託事業)
 - ◇ 対象:川崎市今井小学校の児童と保護者、および地域の皆様
 - ◇ 回数:水曜日学習26回(基礎学習13回、グローバル&ダイバーシティ・プログラム13回)
 土曜日体験学習6回

- 6月17日話芸写「コミュニケーション上手になろう」
- 7月29日仮説実験授業「ドライアイスで遊ぼう」
- 9月16日「コロンブスの卵とことわざカルタ」
- 11月4日JAXA「ペンシルロケットを飛ばそう」
- 12月16日(未定)
- 2月17日激弾 BKYU&コスモスペース「グレイッシュとモモ」

◇ 場所:川崎市立今井小学校内

5.4 企業連携

「キャリア教育」支援や子どもを応援する企業の CSR 活動と連携し、アドバイスやコンサルティングを行う。

- ・ 博報堂 H-CAMP、博報堂生活研究所

5.5 企業連携

全国普及に向けて企業と協働して行うプロジェクトを推進する。

- ・ 株式会社エヌアセット: 溝の口の不動産屋さん発「まちぐるみ子ども応援」事業モデル構築
- ・ ギャップジャパン株式会社: 店舗発の事業モデル構築
- ・ 日本コカ・コーラ株式会社: **5by20** 女性応援事業における全国の高校大学への女性起業家育成支援
- ・ クアルコムジャパン株式会社: 寄付による全国への応援事業

他

6. 広報、コミュニケーション活動の促進

キーパーソン 21 の考え方、概念、日常的な活用方法、「夢！自分！発見プログラム」の活用方法が全国の多くの大人に届くよう広報を強化する。

6.1 イベント

- ・ 説明会の開催:8回/年
- ・ わくわく学生創出会議の開催:3月21日東京都市大学と共催

6.2 WEB

- ・ オウンドメディアの制作と運用
- ・ ホームページ、顧客管理システムと連動したメッセージの発信、ステークホルダー別アプローチにトライ
- ・ メルマガや代表ブログの配信
- ・ 全国のステークホルダーに向けて、WEB 上でのわかりやすい実施モデルを提示
 1. 企業との協働モデル、中高一貫校モデル、
 2. PTA 親子モデル
 3. 個別対応プログラムを活用した経済的困難を抱える中学生への支援モデル
 4. 定時制高校での高校生への支援モデル
 5. 大学生応援モデル
 6. 塾での活用モデル
 7. 支部における実施モデル 他

6-3 紙媒体

- ・ パンフレット、リーフレットの作成

- 16年間の活動の軌跡とノウハウの書籍化

6-4 講演、セミナー、研修

企業、行政、大学、教員、親、福祉協議会など全国の子どもの成長に関わる方々対象。

6-5 企業や自治体、大学、NPO、諸団体との連携のコミュニケーション

港区、渋谷区、江東区、川崎市内の学校支援のみならず、全国へ向けて普及活動の理解をいただけるようコミュニケーションを継続する。

- 協賛企業
カシオ計算機株式会社、ギャップジャパン株式会社、株式会社エヌアセット、株式会社ジェーシービー、株式会社 WOWOW、クアルコムジャパン株式会社、スカパーJSAT 株式会社、他
 - 法人会員
株式会社アルバイトタイムス、東京JAPAN税理士法人、アイエスエフネットグループ、株式会社カヤバ、一般社団法人ソーシャルビジネス支援協会、一般社団法人全国異業種連携協議会、富士通株式会社、株式会社言語生活サポートセンター、富士重工業株式会社、他
 - 全国普及に向けたご寄付や協働プロジェクトの推進パートナーとして
株式会社エヌアセット、ギャップジャパン株式会社、クアルコムジャパン株式会社、日本コカ・コーラ株式会社、
- ・大学、行政、NPO、など諸団体

7. 会員活動の充実と促進

会員のもつ知見や発想を活かし主体的に活動していくための場作りを行う既存チーム活動の充実と新チームの創設による活動の活発化を図る。

7.1 ファンドチーム :

クラウドファンディング、助成金獲得、BOOK ファンド、専修大学のゼミとの連携などを行い、寄付など資金を集める。

7.2 会員満足度向上チーム :

会員報「WAKU のうち弁当」を発行する。

7.3 イベントチーム :

総会、わくわく学生創出会議、説明会を開催運営する。

7.4 寺子屋チーム :

川崎市立今井小学校における親子体験プログラムを開催運営する。

7.5 劇団 :

活動をベースにした演劇を行う。

7.6 IT 情報チーム :

組織の管理体制整備のためにセールスフォースを活用できるシステムを構築、運用サポートを行う。

7.7 WEB チーム :

既存のホームページの改修と新規のオウンドメディアを制作、運用する。

7.8 効果測定チーム：

全国の普及モデルとなる事業の効果を測定する。

7.9 大学生応援チーム：

大学生会員が納得のいく選択をして社会へ旅立てるようサポートする。

7.10 教員チーム（設立準備中）：

教員がわくわくエンジンの観点から児童生徒をサポートする方法の学びの場をつくる。

7.11 チャリティカレッジチーム（設立準備中）：

会員が活動に必要な力をつける講座を会員の得意を活かした内容で開催する。

7.12 面接対策プログラムチーム（設立準備中）：

経済的困難を伴う中学生のための面接対策プログラムを構築しテキスト化する。

7.13 神奈川県男女共同参画プログラムチーム（設立準備中）：

神奈川県の受託による高校生へのプログラムを開発実施する

7.14 人事部チーム（設立準備中）：

企業人事部で仕事をする会員による学びの場をつくる。

他



2017年度 活動予算書

(特定非営利活動に係る事業会計)

2017年4月1日から2018年3月31日まで

特定非営利活動法人キーパーソン21

科 目	金額(円)	備 考
I 経常収益		
1. 会費 (個人・団体)	2,655,000	法人、個人、学生
2. 寄付・賛助金	2,800,000	寄付 賛助会員、カンパ
3. 事業収入		
① 学校支援事業		
実施校からの謝礼	730,000	
企業の子ども支援	5,003,600	企業協賛
わくナビ研修	2,100,000	わくナビ養成、教員研修
行政委託	300,000	東京都教育庁
② 個人支援事業		
受講料、参加料	420,000	親向け、親子、solo-solo 大学生の就職サポート
③ 地域支援		
なかわく	8,230,000	川崎市健康福祉局自立支援室
寺子屋	996,000	川崎市教育委員会
こすわく	1,030,000	川崎市子ども未来局、企業寄付
地域支援	8,437,000	支部連携、金沢大学 パートナーなど
④ 広報・普及・啓発	600,000	講演、イベント
4. 雑収入	0	受取利息、他
29年度経常収益計 (A)	33,301,600	

科 目	金額(円)	備 考
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 給料、謝金	16,000,000	給与、社会保険、運営担当者、協力者謝金
人件費計	16,000,000	
(2) その他経費		
会議費	400,000	会場費、茶菓
旅費交通費	2,000,000	スタッフ出張費
広告宣伝費	800,000	HP更新、リーフレット印刷
通信費	400,000	電話、切手、インターネット、宅配
事務・消耗品	800,000	事務用品、インク、コピー、消耗品他
水道光熱費	40,000	電気、水道(こすわく)
保険料	60,000	学習支援児童保険
家賃	1,120,000	家賃(こすわく)、更新料、火災保険
諸会費	80,000	他活動団体会費他
雑費	20,000	
その他経費計	5,720,000	
事業費 計	21,720,000	
2 管理費		
(1) 給料、謝金、法定福利等	4,800,000	経理、会員管理、庶務、社会保険
人件費計	4,800,000	
(2) その他経費		
会議費	250,000	事務局、会場、茶菓
旅費交通費	700,000	事務局通勤費
広告宣伝費	600,000	HP更新、リーフレット印刷
通信費	400,000	電話、切手、インターネット、宅配
事務・消耗品費	700,000	事務用品、インク、コピー、消耗品他
家賃	132,000	家賃(かわさき市民活動センター)
諸会費	80,000	川崎商工会議所、INF 日本キャリア教育学会、他
公租公課	8,000	印紙
雑費	50,000	慶弔、お土産、他
その他経費計	2,920,000	
管理費 計	7,720,000	
経常費用 計 (B)	29,440,000	
税引前当期正味財産増減額 (C) = (A) - (B)	3,861,600	
法人税、住民税、事業税 (D)		
当期正味財産増減額 (E) = (C) - (D)	3,861,600	(2017単年度)
前期繰越正味財産額 (F)	16,934,516	
次期繰越正味財産額 (E) + (F)	20,796,116	